

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 編著 教材・テキストのご案内

J検の公式の教材・テキストをご紹介します。J検の受験を検討されている皆様の試験対策のほか、現代情報社会に必要とされる能力を体系別にわけて学習していただくこともできます。

ご注文について

全国どこ書店からでもご注文できますので、ご利用ください。
下記からご注文・お問い合わせを承ります。

実教出版(株) 企画開発部

HP:<https://www.jikkyo.co.jp>

TEL:03-3238-7765 FAX:03-3238-7770

(株)日本能率協会マネジメントセンター ラーニングパブリッシング本部

HP:<https://pub.jmam.co.jp/>

TEL:03-6362-4558 FAX:03-3272-8127

改訂2版 J検情報システム 完全対策公式テキスト

日本能率協会マネジメントセンター
定価 2,860円 (本体2,600円)

改訂3版 J検情報活用1級・2級 完全対策公式テキスト

日本能率協会マネジメントセンター
定価 2,200円 (本体2,000円)

改訂3版 J検情報活用3級 完全対策公式テキスト

日本能率協会マネジメントセンター
定価 1,650円 (本体1,500円)

改訂版 J検情報デザイン 完全対策公式テキスト

日本能率協会マネジメントセンター
定価 2,420円 (本体2,200円)

情報活用試験2級 公式テキスト

実教出版(株)
定価 1,980円 (本体1,800円)

情報活用試験3級 公式テキスト

実教出版(株)
定価 1,320円 (本体1,200円)

総出願者数

約**150**万人

文部科学省後援
「創る」「使う」「伝える」

情報検定 J検

PBT方式(ペーパー方式)

情報活用試験

1 級
2 級
3 級

● 前期

受験日 令和6年 6月16日(日)

出願開始 令和6年 4月1日

願書必着日 5月13日(手書願書)、5月20日(電子願書)

● 後期

受験日 令和6年 12月15日(日)

出願開始 令和6年 9月1日

願書必着日 11月5日(手書願書)、11月12日(電子願書)

情報システム試験

基本スキル
プログラミングスキル
システムデザインスキル

● 前期

受験日 令和6年 9月8日(日)

出願開始 令和6年 6月1日

願書必着日 7月12日(手書願書)、7月19日(電子願書)

● 後期

受験日 令和7年 2月9日(日)

出願開始 令和6年 11月1日

願書必着日 12月13日(手書願書)、令和7年1月7日(電子願書)

全試験・全科目CBT方式にて随時受付中
情報デザイン試験はCBT方式のみ実施

協力保険会社

私たちは、学生生徒災害傷害保険を通じて、「情報検定(J検)」「ビジネス能力検定(B検)ジョブパス」を応援しています。



東京海上日動



損保ジャパン



三井住友海上

出願にあたってご承諾いただく事項

個人情報の取扱いについて

本申込書を使ってお申込みされた方の個人情報は、本検定の円滑な実施を目的として、目的の達成に必要な範囲内で使用されます。また、個人情報は次の場合を除き第三者に開示しません。

- ①本人の同意がある場合
- ②個人情報に関する機密保持契約を締結している業務委託会社に対して、利用目的の達成に必要な範囲で個人情報の取り扱いを委託する場合
- ③統計データなど個人を識別できない状態に加工した場合
- ④法律等に基づき、開示を求められた場合

トラブル、イレギュラーケースについて

- ①試験会場における受験者間のトラブル等には、試験センターは一切関与しません。
- ②受験者が試験会場所有のパソコンおよび周辺機器、その他備品などを故意または通常の使用とは異なる方法で毀損させた場合は、全ての費用を弁償していただきます。
- ③台風、大雪等の天変地異、伝染病の流行などの不測の事態により、試験が中止となった場合は、可能な限り速やかにホームページにお知らせします。上記理由により試験が中止となった場合でも、検定料の返金は致しません。
- ④受験者の迷惑行為、不正行為により試験監督者から退場・失格を受け試験を中止した場合、検定料の返金は致しません。
- ⑤いかなる場合においても、試験センターが受験者に負う責任は、当該受験者が支払った検定料総額を上回るものではありません。

お問い合わせ先／実施機関



一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 検定試験センター

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館11階

TEL: 03-5275-6336 (土・日・祝日および年末・年始は除く) FAX: 03-5275-6969

E-mail: jkscc@sgec.or.jp URL: <https://jken.sgec.or.jp/>

J検

検 索

令和6年度 前期・後期 **団体専用受験案内・願書**

※これはPBT方式の願書です。個人でご出願いただく場合は、PCのサイトから**CBT**方式をご利用ください。

[https:// jken.sgec.or.jp/](https://jken.sgec.or.jp/)

情報活用試験

※PBT方式(ペーパー方式)

受験要領 【令和6年度】

- **受験級** 1級 2級 3級
- **受験対象** 特に定めておりません。どなたでも、どの級からでも受験できます。
- **試験会場** 本校定の規定により指定された全国教育機関など。
- **併願受験** すべての組み合わせで同日受験が可能。
- **出題形式** 多肢選択方式(解答はマークシート方式)
- **受験料(税込み)**
1級…4,500円 2級…4,000円 3級……3,000円
1級・2級併願…8,500円 1級・3級併願…………7,500円
2級・3級併願…7,000円 1級・2級・3級併願…11,500円
一旦納入された受験料は、理由の如何を問わず返金いたしません。また、出願後の受験級変更はできません。

級	説明時間	試験時間	合格点／配点
3級	10:00～10:10	10:10～10:50(40分)	70/100
2級	11:05～11:15	11:15～12:15(60分)	65/100
1級	13:20～13:30	13:30～14:30(60分)	65/100

- **電卓の使用**
すべての科目で電卓を使用することができます。ただし、下表に記載されている機種は使用できません。

- 1.電池式(太陽電池を含む)以外の電卓
- 2.文字表示領域が複数行ある電卓(計算状態表示の一行は含まない)
- 3.プログラムを組み込み機能がある電卓
- 4.電卓が主たる機能ではないもの *)/パソコン(電子メール専用機等を含む)、携帯電話、スマートフォン、タブレット、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付き腕時計、時計型ウェアラブル端末等
- 5.その他試験監督者が不適切と認めるもの

前期	試験日 出願開始 願書必着日	令和6年6月16日(日) 令和6年4月1日(月) 5月13日(月)(手書願書)、5月20日(月)(電子願書)
後期	試験日 出願開始 願書必着日	令和6年12月15日(日) 令和6年9月1日(日) 11月5日(火)(手書願書)、11月12日(火)(電子願書)

- **合否結果一覧**
合否結果はweb上で公開後、団体宛に結果資料一式を送付します。
前期 令和6年7月下旬 後期 令和7年2月上旬
- **合格証の認証**
webページでの認証によるデジタル「合格証」を交付します。
- **合格証書・証明書の発行について**
合格者には希望により合格証書(A4判)を、入試や就職等で証明書を必要な方には合格証明書を発行いたします。
合格証書発行手数料:1,100円(送料、税込み)
合格証明書発行手数料:600円(送料、税込み)
- **表彰**
成績優秀者を表彰いたします。
文部科学大臣賞(1級のみ)
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団理事長賞
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団優秀賞
- **出願方法**
3ページをご参照ください。

情報システム試験

※PBT方式(ペーパー方式)

受験要領 【令和6年度】

- **試験科目** 基本スキル プログラミングスキル システムデザインスキル
- **受験対象** 特に定めておりません。どなたでも、どの科目からでも受験できます。
- **試験会場** 本校定の規定により指定された全国教育機関など。
- **併願受験** すべての組み合わせで同日受験が可能。
- **出題形式** 多肢選択方式(解答はマークシート方式)
- **受験料(税込み)**
基本スキル……………3,500円 プログラミングスキル……………3,000円
システムデザインスキル…3,000円 基本スキル+プログラミングスキル…6,500円
基本スキル+システムデザインスキル……………6,500円
プログラミングスキル+システムデザインスキル…6,000円 全科目併願…9,500円
一旦納入された受験料は、理由の如何を問わず返金いたしません。また、出願後の受験科目変更はできません。

科目	説明時間	試験時間	合格点／配点
プログラミングスキル	10:00～10:10	10:10～11:40(90分)	65/100
基本スキル	13:00～13:10	13:10～14:10(60分)	65/100
システムデザインスキル	14:30～14:40	14:40～16:10(90分)	65/100

- **合格認定・技術認定**
この試験は単科目ごとに合格認定を行います。また、以下の科目を合格した場合、技術認定を行います。
- | 合格科目 | 技術認定 |
|-------------------|-------------|
| 基本スキル+プログラミングスキル | プログラマ認定 |
| 基本スキル+システムデザインスキル | システムエンジニア認定 |

- **合格科目の免除**
合格した科目は、1年間受験を免除することができます。(出願時に免除申請)

- **電卓の使用**
すべての科目で電卓を使用することができます。ただし、下表に記載されている機種は使用できません。

- 1.電池式(太陽電池を含む)以外の電卓
- 2.文字表示領域が複数行ある電卓(計算状態表示の一行は含まない)
- 3.プログラムを組み込み機能がある電卓
- 4.電卓が主たる機能ではないもの *)/パソコン(電子メール専用機等を含む)、携帯電話、スマートフォン、タブレット、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付き腕時計、時計型ウェアラブル端末等
- 5.その他試験監督者が不適切と認めるもの

- **合否結果一覧**
合否結果はweb上で公開後、団体宛に結果資料一式を送付します。
前期 令和6年10月下旬 後期 令和7年3月中旬
- **合格証の認証**
webページでの認証によるデジタル「合格証・認定証」を交付します。
- **合格証書・証明書の発行について**
合格者には希望により合格証書(A4判)を、入試や就職等で証明書を必要な方には合格証明書を発行いたします。
合格証書発行手数料:1,100円(送料、税込み)
合格証明書発行手数料:600円(送料、税込み)
- **表彰**
成績優秀者を表彰いたします。
文部科学大臣賞 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団理事長賞
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団優秀賞
- **出願方法**
5ページをご参照ください。

出題範囲

1級	【受験対象】 ネットワーク化された環境において、情報機器の設定や操作、活用における基本的な知識と技能を持つ人。さらに情報の加工や活用ができ、情報化および情報社会の中に関わっていく人を対象とする。
【評価内容】	情報化社会で生活するための実践的能力を評価する。ネットワーク環境にあるコンピュータと各種機器の役割、アプリケーションソフトを活用した問題解決技法と知識、情報化社会に関わる諸問題および情報セキュリティに対応できる応用知識。
情報と情報の利用	●情報と情報の関係、また情報を収集、整理し、活用するための加工方法について理解する。さらに情報がコンピュータと人間との間でどのような形で表現されるのかを理解する。 ①データと情報 ②情報の表現方法 ③情報の活用、情報処理の手順 ④情報の収集と発信 ⑤情報の管理
パソコンの活用	●ネットワークに接続されたパソコンを取り巻くハードウェアやソフトウェア、入出力インタフェース、ファイル管理の方法などについて理解する。 ①パソコンシステムとその環境 ②オペレーティングシステム ③ファイルシステム ④パソコン関連機器とインタフェース
ネットワークの利用	●インターネットやLANなどのネットワークを構成する機器や、各種ネットワークの利用形態などを理解する。 ①情報通信ネットワークの概要 ②インターネットを利用するために必要な機器とソフトウェア ③モバイルコンピューティング ④ネットワーク上のパソコンの管理

2級	【受験対象】 情報化社会での企業活動を理解するための基礎的な知識を持つ人。また、ネットワークに接続されたパソコンを利用し、業務ができる人を対象とする。
【評価内容】	情報社会の仕組みを理解するための基礎知識。また、クライアント環境のコンピュータと各種機器の役割と機能、環境設定の基礎知識、ソフトウェアの種類と機能、インターネットおよび情報モラルと情報セキュリティなどの基礎知識。
経営戦略とシステム戦略	●経営戦略とシステム戦略の基礎知識について理解する。 ①企業活動(コーポレートガバナンス、損益分岐点、個人情報管理、在庫管理、QC) ②経営戦略(マーケティング分析、PPM、競争地位分析、BSC、SWOT分析、コアコンピタンス、アライアンス) ③情報システム戦略(ERP、CRM、KM、SFA、DSS、POS、eビジネス、PDCA、クラウドコンピューティング)
プロジェクトマネジメント	●プロジェクトマネジメントに関する基礎知識について理解する。 ①プロジェクトマネジメント(ステークホルダ、PMBOK、WBS、PERT) ②サービスマネジメント(BCP、SLA、インシデント管理) ③システム開発マネジメント(ファンクションポイント法、システム開発手法、モジュール分割技法、テスト技法)
データ構造と情報表現	●コンピュータにおける情報表現とデータ構造について理解する。 ①データと情報 ②コンピュータにおける情報の表現 ③データ構造と操作
3級	【受験対象】 すでに環境設定されたパソコンを利用できる人を対象とする。
【評価内容】	情報化に主体的に対応するための基礎的な知識。また、クライアント環境のパソコンの操作、利用と役割、機能、および情報の利用、情報モラル、セキュリティなどに関わる基礎知識。

情報表現と処理手順	●情報手段としてのパソコンの在り方とその使用法を理解する。 ①情報の理解と、情報や手段の適切な選択 ②情報の収集、伝達の在り方とパソコンの利用 ③問題解決の方法
パソコンの基礎	●パソコンの基本構成とその取扱いを理解する。 ①パソコンの代表的な装置と媒体、およびOSの主な役割 ②データ保存の形式とファイルの管理の仕組み
インターネットの基礎	●インターネットの基本的な仕組みを理解する。 ①インターネットの特徴とプロバイダの役割 ②プロトコルを理解する。
インターネットの利用	●インターネットの利用方法を理解する。 ①ブラウザの利用 ②電子メールの利用 ③利用するために必要な設定
情報機器の基本操作	●パソコン、情報機器の基本操作、およびアプリケーションソフトを利用した情報の検索、収集、伝達の適切な方法について理解する。 ●主なアプリケーションソフトの種類と目的について理解する。 ①パソコンや情報機器の取扱い、基本操作 ②アプリケーションソフトごとの基本的な利用
情報社会とコンピュータ	●日々の生活とコンピュータの関わりを理解する。 ①身近なコンピュータシステムの役割(eラーニング、eコマース、SOHO、POSシステム、マイコン制御など) ②セキュリティ ③高度情報化の進展における問題点
情報モラル	●情報モラルを理解する ①情報モラル ②ネットiquetteに関する基礎的な知識

基本スキル

- **【受験対象】** ソフトウェアの開発を目指す人を対象とする。
- **【評価内容】** ソフトウェア開発における技法やプロジェクトマネジメント、およびその基盤となる情報の表現、ハードウェア、基本ソフトウェアに関する基礎知識。

プロジェクトマネジメント	●システム開発におけるプロジェクト管理について理解する。 ①プロジェクトマネジメントの概要 プロジェクトマネジメントの5つのプロセス群と10の知識エリア、業務プロセス、ソリューションビジネス、システム活用促進、評価、ステークホルダ、SLA、インシデント管理、RFP ②プロジェクトの進捗、コスト管理 ガントチャート、ファンクションポイント、WBS、PERT、EVM、ベンチマーク、UPS、施設管理
情報表現	●数値及びデータの表現、情報の基礎理論について理解する。 ①数値表現とデータ表現の種類 基数と基数変換、データの表現単位、補助単位 ②数値とデータの表現方法 10進数表現、2進数表現、16進数表現、固定小数点表記、浮動小数点表記、シフト演算 ③演算と精度 数値表現の精度、演算と精度、数値表現と誤差 ④文字の表現 各種文字コード ⑤その他のデータ表現 データの符号化、画像データ、音声データ
データ構造とアルゴリズム	●問題を解決するために適したデータ構造と、問題を解決するために効率の良いアルゴリズムが想定できるかを問う。 ①データ構造 配列、リスト、スタック、キュー、2分木など ②アルゴリズム 探索、整列、再帰、文字列操作、数値演算 ③ファイル処理 コントロールブレイク、マッチング ④アルゴリズムの評価 状態遷移、計算量 ⑤デジジョンテーブル(決定表)を利用した問題解決
プログラマ	●プログラマを目指す人を対象とする。 ●【評価内容】 想定処理に対して適切なデータ構造とアルゴリズムを適用できる能力と、適切なテストケースを作成し、テスト結果の正当性を評価できる能力。

プログラミングスキル

- **【受験対象】** プログラマを目指す人を対象とする。
- **【評価内容】** 想定処理に対して適切なデータ構造とアルゴリズムを適用できる能力と、適切なテストケースを作成し、テスト結果の正当性を評価できる能力。

システムデザインスキル

- **【受験対象】** システム開発技術者を目指す人を対象とする。
- **【評価内容】** システムの開発と、それに必要なネットワーク技術、データベース技術及び、セキュリティと標準化に関する知識。

経営戦略とシステム戦略	●経営戦略に関する基本的な考え方を理解し、それに対応したシステム戦略を作成するために必要な基礎知識について問う。 ①企業活動 PDCA、BPR、CSF、SOHO、企業形態 ②経営戦略 CRM、POSシステム、ユビキタスコンピューティング、差別化戦略 ③システム戦略 ERP、ベストプラクティス ④システム監査
システム開発	●システム開発に関する基本的な知識、手法について問う。 ①システムの構成技術 クラウドサービス/システム、システムの構成方式、処理形態 ②システムの性能、信頼性 システムの性能計算、システムの信頼性計算 ③開発手法 ソフトウェアの開発モデル、ソフトウェアのライフサイクル、ソフトウェアの再利用 ④モジュール分割技法 STS分割、共通機能分割、トランザクション分割、モジュールの強度、結合度 ⑤テスト技法 結合テスト、システムテスト、その他のテスト、テストの実施計画、テストの作業内容
ネットワーク技術	●ネットワークを構成するプロトコル、伝送制御、LAN、WANの要素技術を、どのように組み合わせて利用していくのかについて、さらにインターネットについて、そのプロトコルとアプリケーションに関する知識を問う。 ①ネットワークアーキテクチャ OSI参照モデル、TCP/IP ②伝送制御 伝送制御手順、符号化、伝送技術、通信回路、伝送方式 ③ネットワークの性能 通信時間の計算、ネットワーク設計と性能評価 ④LAN 伝送媒体、通信機器、トポロジとアクセス制御 ⑤ネットワークの構成 通信機器、ネットワークソフト、電気通信サービス ⑥インターネット応用 IPルーティング、応用プロトコル、アプリケーション、ネットワークセキュリティ技術
データベース技術	●情報システムにおいて、データ管理を行うデータベースについて、その主な機能、役割、設計、活用について問う。また、データベース言語(SQL)を用いたデータベース操作を問う。 ①データベースの構築 関係データモデル、スキーマ、データ分析、正規化 ②SQLによるデータベース操作 データ定義言語(SQL-DDL)、データ操作言語(SQL-DML)、データ制御言語(SQL-DCL) [SQL仕様] JIS X 3010データベース言語SQLによるものとする。ただし、次の仕様は除く。 ③データベース管理システムの機能 参照整合性、機密保護、トランザクション制御、排他制御、リカバリ ④セキュリティと標準化 ●情報システムにおけるさまざまなセキュリティ管理、対策とセキュリティガイドラインや関連法規、および情報システム全般にわたる標準化に関する知識を問う。 ①セキュリティ対策 暗号化方式、機密保護、なりすまし、改ざん防止対策、不正アクセス対策、コンピュータウイルス対策、セキュリティ管理、セキュリティポリシー ②セキュリティガイドラインと関連法規 ガイドライン、プライバシー保護、関連法規 ③情報システムの標準化 標準の種類、標準化の概要

総出願者数
約150万人

「創る」「使う」「伝える」
情報検定 J検

願書記入例

●試験申し込み出願区分一覧表

★1科目単願出願

1級	¥4,500	出願区分 U1C
2級	¥4,000	U1B
3級	¥3,000	U1A

★2科目併願出願

1級+2級	¥8,500	U2C
1級+3級	¥7,500	U2B
2級+3級	¥7,000	U2A

★3科目併願出願

1級+2級+3級	¥11,500	U3A
----------	---------	-----

令和6年度(前期)・後期 情報活用試験
No.1 受験願書
(団体申込書)

性別・生年月日年号・所属・学科の該当番号に○印を付けてください。 ※太枠内は必須記入項目です。

氏名フリガナ ヤマダ タロウ
漢字 山田 太郎

性別 ①男 2.昭和 ③平成
12年 1月 1日

出願区分・受験料
(上記「試験申し込み出願区分一覧表」を参照に記入して下さい。)

U 2 C
¥ 8,500

住所 〒102-0073 東京都千代田区九段北〇-△-□〇〇マンション△号室

①専門学校生 2.短・大学生 3.高校生
4.中学生 5.社会人 6.その他()

①情報処理・システム開発系 2.ビジネス系 3.デザイン系
4.普通科 5.商業・工業・総合科 6.その他()

学年・勤続年数 1年 1組 出席番号(整理番号) 〇〇1

通信欄

学校名・会社名等 〇〇△専門学校

令和6年度(前期)・後期 情報活用試験
No.2 団体控
受験願書

令和6年度(前期)・後期 情報活用試験
No.3 出願者控
受験願書

氏名 山田太郎

科 情報処理科

年 1

クラス 1

出席番号 〇〇1

出願区分 U2C

受験料 ¥8,500

氏名 山田太郎

科 情報処理科

年 1

クラス 1

出席番号 〇〇1

出願区分 U2C

受験料 ¥8,500

■受験願書の記入方法(願書は下記の事項に注意して記入してください)

1. 前期・後期の該当する方に○印を付けてください。

2. すべて楷書で、黒のボールペンではっきり記入してください。(鉛筆による記入は不可)。
訂正の場合はその箇所に訂正印を押してください。

3. 氏名のフリガナは、必ずカタカナで記入してください(濁点「゜」および半濁点「゜」は1字分)。

4. 記入できる文字は、JIS第1水準、第2水準までとします。
それ以外の文字は、原則として記入できません。

5. 該当する性別・生年月日年号・所属・学科に○印を付けてください。

6. 太枠内は必ず記入してください。生年月日の記入がない場合は合否結果を確認できませんのでご注意ください。

7. アパート・マンション等の方は、____号室、____方まで記入してください。

8. 試験申し込み出願区分一覧表から希望する出願区分(3ケタ)を願書に必ず記入してください。

3

●試験申し込み出願区分一覧表

★1科目単願出願	
1級	¥4,500
2級	¥4,000
3級	¥3,000
★2科目併願出願	
1級+2級	¥8,500
1級+3級	¥7,500
2級+3級	¥7,000
★3科目併願出願	
1級+2級+3級	¥11,500

令和6年度 前期・後期 情報活用試験
No.1 受験願書
(団体申込書)

性別・生年月日年号・所属・学科の該当番号に○印を付けてください。 ※太枠内は必須記入項目です。

氏名フリガナ 漢字	生年月日2.昭和3.平成 年 月 日	性別1.男2.女	出願区分・受験料 (上記「試験申し込み出願区分一覧表」を参照に記入して下さい。)	住所〒 都道府県	所属1.専門学校生 2.短・大学生 3.高校生 4.中学生 5.社会人 6.その他() 学 科 1.情報処理・システム開発系 2.ビジネス系 3.デザイン系 4.普通科 5.商業・工業・総合科 6.その他() 学年・勤続年数 出席番号(整理番号) 組
電話(自)			U	受験料を記入して下さい ¥	学校名・会社名等 通信欄

令和6年度 前期・後期 情報活用試験
No.2 団体控
受験願書

氏名	科	年	クラス	出席番号

出願区分	受験料
U	¥

令和6年度 前期・後期 情報活用試験
No.3 出願者控
受験願書

氏名	科	年	クラス	出席番号

出願区分	受験料
U	¥

<センターへはNo1のみ送付>

願書記入例

●試験申し込み出願区分一覧表

★1科目単願出願

基本スキル	¥3,500	S1B
プログラミングスキル	¥3,000	S1A
システムデザインスキル	¥3,000	S1C

★2科目併願出願

基本スキル＋プログラミングスキル	¥6,500	S2A
基本スキル＋システムデザインスキル	¥6,500	S2C
プログラミングスキル＋システムデザインスキル	¥6,000	S2B

★3科目併願出願

基本スキル＋プログラミングスキル＋システムデザインスキル	¥9,500	S3A
------------------------------	--------	-----

出願区分・受験料を必ず記入してください。

令和6年度(前期)・後期 情報システム試験 No.1 受験願書 (団体申込書)

性別・生年月日年号・所属・学科の該当番号に○印を付けてください。 ※太枠内は必須記入項目です。

氏名フリガナ漢字山田太郎

住所〒102-0073 東京都千代田区九段北〇-△-□〇〇マンション△号室

所属①専門学校生 2.短・大学生 3.高校生 4.中学生 5.社会人 6.その他() 学校名・会社名等 〇〇△専門学校

学科①情報処理・システム開発系 2.ビジネス系 3.デザイン系 4.普通科 5.商業・工業・総合科 6.その他()

学年・勤続年数1年 出席番号(整理番号)〇〇1

通信欄

出願区分・受験料

受験料を記入して下さい

免除申請欄

※合格科目の受験番号を記入して下さい

基本スキル

プログラミングスキル

システムデザインスキル

免除申請を行う場合のみ記入してください。

令和6年度(前期)・後期 情報システム試験 No.2 団体控

令和6年度(前期)・後期 情報システム試験 受験願書

氏名山田太郎

科情報処理科

年1

クラス1

出席番号〇〇1

出願区分

受験料

S3A

¥9,500

令和6年度(前期)・後期 情報システム試験 No.3 出願者控

氏名山田太郎

科情報処理科

年1

クラス1

出席番号〇〇1

出願区分

受験料

S3A

¥9,500

＜センターへはNo.1のみ送付＞

■受験願書の記入方法(願書は下記の事項に注意して記入してください)

1. 前期・後期の該当する方に○印を付けてください。

2. すべて楷書で、黒のボールペンではっきり記入してください。(鉛筆による記入は不可)。訂正の場合はその箇所に訂正印を押してください。

3. 氏名のフリガナは、必ずカタカナで記入してください(濁点「゜」および半濁点「ㇰ」は1字分)。

4. 記入できる文字は、JIS第1水準、第2水準までとします。
それ以外の文字は、原則として記入できません。

5. 該当する性別・生年月日年号・所属・学科に○印を付けてください。

6. 太枠内は必ず記入してください。生年月日の記入がない場合は合否結果を確認できませんのでご注意ください。

7. アパート・マンション等の方は、__号室、__方まで記入してください。

8. 試験申し込み出願区分一覧表から希望する出願区分(3ケタ)を願書に必ず記入してください。

9. 技術認定(プログラマ認定、システムエンジニア認定)を申請する方は、出願時に今回取得したい技術認定の既に合格している科目の「受験番号」を記入することにより、合格している科目の試験を免除することができます。合格科目の免除有効期間は合格認定日から1年間で、CBT方式で科目合格されている方は、試験実施日が合格認定日となります。

10. 免除の申請をする方は「合格科目の受験番号」を必ず記入し、該当科目のみを出願してください。「合格科目の受験番号」の記入がないものは「単願」の扱いとなり、技術認定が適用されませんのでご注意ください。出願後の受験科目の変更はできません。

5

●試験申し込み出願区分一覧表

★1科目単願出願	
基本スキル	¥3,500
プログラミングスキル	¥3,000
システムデザインスキル	¥3,000
★2科目併願出願	
基本スキル＋プログラミングスキル	¥6,500
基本スキル＋システムデザインスキル	¥6,500
プログラミングスキル＋システムデザインスキル	¥6,000
★3科目併願出願	
基本スキル＋プログラミングスキル＋システムデザインスキル	¥9,500

令和6年度 前期・後期 情報システム試験 No.1 受験願書 (団体申込書)

性別・生年月日年号・所属・学科の該当番号に○印を付けてください。 ※太枠内は必須記入項目です。

氏名フリガナ漢字	性別1.男 2.女	生年月日2.昭和3.平成 年 月 日	出願区分・受験料 (上記「試験申し込み出願区分一覧表」を参照に記入して下さい。)
住所〒	都道府県	電話(自)	S
所属1.専門学校生 2.短・大学生 3.高校生 4.中学生 5.社会人 6.その他()	学校名・会社名等	受験料を記入して下さい	¥
学科1.情報処理・システム開発系 2.ビジネス系 3.デザイン系 4.普通科 5.商業・工業・総合科 6.その他()	通信欄	免除申請欄	※合格科目の受験番号を記入して下さい
学年・勤続年数	出席番号(整理番号)	基本スキル	プログラミングスキル
年	組	システムデザインスキル	

＜センターへはNo.1のみ送付＞

令和6年度 前期・後期 情報システム試験 No.2 団体控

令和6年度 前期・後期 情報システム試験 受験願書

氏名科年クラス出席番号

出願区分

S

受験料

¥

氏名科年クラス出席番号

出願区分

S

受験料

¥